

日本語教室 国語科学習指導案

令和3年10月 第2学年（日本語教室）

指導者 菅野 俊将

日本語指導助手

日本語指導補助員

- 1 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう
「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

2 学習指導要領上の位置付け

- (1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項ア】
- (2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
【思考力、判断力、表現力等 B 書くこと (1) イ】
- (3) 説明に必要な事柄や事柄の順序に沿った構成のよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすること。

【学びに向かう力、人間性等】

3 目標

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」を読んで、説明から手順を示す文章の書き方や説明の工夫を見つけ、それらを使って実際に説明する文章を書くことを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- ア おもちゃの作り方を説明する文章を書くために、共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

(知識及び技能)

- イ おもちゃの作り方を説明する文章を書くために、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

(思考力、判断力、表現力等)

- ウ 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしていること。

(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（5／8）

(1) ねらい

ビデオ映像を視聴しながら「せつめいカード」を書き、それらを組み合わせることを通して、順序に沿って文章を組み立てることができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 〔記〕記録に残す評価 評価項目<方法（観点）>
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>○前時の活動と本時の活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時では、おもちゃを作る様子をビデオで撮影したこと。 ・本時では、撮影した映像を視聴しながら「せつめいカード」に作り方の説明を書き、文章を組み立てること。 	5分	<p>○本時では、作業の順序に沿って文章の構成を考える活動を行うことを伝え、児童が組み立てた「せつめいカード」の構成が次時で書く文章の大切な骨組みになることを意識させる。</p>
<p>【めあて】 「せつめいカード」をつかって、おもちゃを作るじゅんじょが分かりやすくなるように文しょうを書き、組み立てよう。</p>		
<p>2 文章全体の構成を考える。</p> <p>○〈何を作るのか〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の4要素の構成で文章を組み立てることを知り、この4要素をどの順序で組み立てるとよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず何を作るのか伝えることが大切だから、最初に〈何を作るのか〉を入れたほうがいいな。 ・〈ざいりょうとどうぐ〉を書いてから〈作り方〉を説明しないと、分かりづらくなるよ。 ・「けん玉の作り方」はどんな順番になっていたのかな。 	7分	<p>◎児童が〈何を作るのか〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の順序で書くと分かりやすい文章になることを納得した上で文章の構成を考慮することができるよう、4要素の最適な順序について他の児童と話し合いながら考え、自分の考えを発表する場面を設ける。</p> <p>○児童が〈何を作るのか〉〈ざいりょうとどうぐ〉〈作り方〉〈あそび方〉の順序で組み立てられていることを確かめ、同じような構成で書けばよいことが分かるよう、「けん玉の作り方」の文章構成を参照させる。</p>
<p>3 「けん玉の作り方」と同じ文章構成を基にして、〈作り方〉の説明の順序を考える。</p> <p>○おもちゃを作る過程を記録した映像を視聴しながら、順序に沿って制作の工程を「せつめいカード」に短文で記入し、並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく作り方を順番に書いていき、「せつめいカード」を作っていこう。 ・言葉を付け足したら分かりやすくなったな。 ・実際の順序とは違うけれど、作り方の順序を入れ替えたほうが分かりやすくなるかもしれないな。 	28分	<p>◎文章を組み立てる方法や「せつめいカード」の使い方、並べ方をイメージすることができるよう、本時の活動のやり方を示したモデル映像を視聴させる。</p> <p>◎児童が個々のICT端末で映像を視聴しながら「せつめいカード」に記入することができるよう、タブレット内に映像データ（制作の工程が分かりやすくなるようにある程度編集したもの）を入れておく。</p> <p>◎児童が「せつめいカード」を記入したり内容のまとめごとに分けたりすることがスムーズにできるよう、教師の言語支援と映像による非言語支援を併せて行う。</p> <p>○児童が分かりやすい順序で「せつめいカード」の内容を書くことができるよう、言葉や文を付け足したり直したり、あるいは文を入れ替えたりすることが</p>

<p>○並べた「せつめいカード」を、3～4つの内容のまとまりごとに分ける。また、まとまりごとに使いたい写真や図を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって写真や図を決めようかな。 ・文に書いて説明するのが難しかったところがあったな。そこは写真や図を使うと分かりやすくなるかな。 		<p>必要になることを伝えつつ支援する。</p> <p>○文に書いて説明することが難しい箇所については空欄にしておき、後で写真や図を併せて簡単に説明する方法があることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>順序に沿うように書きながら、並べたり組み合わせたりして文章全体を組み立てている。 <「せつめいカード」(2)〔記〕></p> </div>
<p>4 本時の学習のまとめと振り返りをする。</p> <p>○本時のめあてに照らし合わせながら振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃを作る順序に気を付けながら「せつめいカード」を書き、並べて組み立てることができた。 ・どんなふうにか、何度もビデオを見ながら考えることができた。 ・「せつめいカード」を書き直したり付け足したり、入れ替えたりして、分かりやすくなったと思う。 ・文に書いて説明するのが難しかったところを次の時間にどうするか。写真や絵は使えそうだな。 	5分	<p>○次時の文章を書く活動で活用することができるよう、並べた「せつめいカード」をICT端末のカメラで撮影し、写真を保存しておく。</p> <p>○次時の文章を書く活動につなげ、生かすことができるよう、個々の児童の振り返りを全体で共有する。</p>

6 板書計画

ふりかえり

- ・ビデオを見ながらできた。
- ・つけたしたり、書き直したり、入れかえたりして分かりやすくなった。

〈あそび方〉

糸にじしゃくをつける。

わりばしに糸をつける。

絵にクリップをつける。

絵をはさみで切る。

かみに絵をかく。

〈作り方〉

〈ざいりょうとどうぐ〉

文しよう全体の組み立て

〈何を作るのか〉

魚つりゲームの作り方をせつめいします。

おもちゃの作り方をせつめいしよう

「せつめいカード」をつかって、おもちゃを作るじゅんじょが分かりやすくなるように文しようを書き、組み立てよう。

<p>目標</p>	<p>「おもちゃの作り方をせつめいしよう」を読んで、説明から手順を示す文章の書き方や説明の工夫を見つけ、それらを使って実際に説明する文章を書くことを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア おもちゃの作り方を説明する文章を書くために、共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 (知識及び技能)</p> <p>イ おもちゃの作り方を説明する文章を書くために、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしていること。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (知識・技能)</p> <p>(2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>・振り返り（意識）</p>	<p>評価項目 ＜方法（観点）＞ 〔記〕記録に残す評価</p>
<p>つかむ</p>	<p>1</p> <p>○本単元のめあてをつかみ、自分がおもちゃギャラリーに展示したいおもちゃを決めることを通して、説明文を書くことの見通しをもつことができるようにする。</p> <p>日本語教室おもちゃギャラリーを開こう。</p> <p>自分がギャラリーでしようかいしたいおもちゃをきめよう。</p>	<p>・ギャラリーに飾るおもちゃを選んで決めることができた。</p> <p>・おもちゃといっしょに「おもちゃの作り方カード」もギャラリーに置かなければならない。分かりやすく文章を書きたい。</p>	<p>・日本語教室おもちゃギャラリーについて理解し、おもちゃギャラリーに展示したいおもちゃを選び、決めようとしている。 ＜観察・発言（3）＞</p>
<p>追究する</p>	<p>2</p> <p>○「けん玉の作り方」を読みながら実際におもちゃを作ることを通して、説明の工夫を見つけることができるようにする。</p> <p>「けん玉の作り方」を読みながらけん玉を作り、わかりやすくせつめいしているところを見つけよう。</p>	<p>・写真があるので分かりやすかった。</p> <p>・作る順序を表す言葉があると分かりやすかった。</p> <p>・材料の数が数字で書いてあると分かりやすかった。</p>	<p>・説明文を読みながら実際におもちゃを作り、順序を表す言葉や具体的な数字、写真など、説明の工夫に気付いている。 ＜観察・発言（1）＞</p>
	<p>1</p> <p>○選んだおもちゃを実際に作る過程をビデオ撮影することを通して、次時で制作過程を記録した映像を確認しながら文章を組み立てる準備をすることができるようにする。</p> <p>えらんだおもちゃを作ってビデオにとろう。</p>	<p>・おもちゃを作るときにどんなことをしたか声に出しておく、文を書くときに役に立つ。</p> <p>・作り方を文章に書くのは難しそうだな。</p>	<p>・次時に備え、作るときに行った動作を声に出しながら制作の過程を撮影している。 ＜ビデオ映像（2）＞</p>
<p>（本時）</p>	<p>1</p> <p>○ビデオ映像を視聴しながら「せつめいカード」を書き、それらを組み合わせることを通して、順序に沿って文章を組み立てることができるようにする。</p> <p>「せつめいカード」をつかって、おもちゃを作るじゅんじょが分かりやすくなるように文しょうを書き、組み立てよう。</p>	<p>・「せつめいカード」を組み合わせて、内容ごとのまとまりを作ることができた。</p> <p>・文で説明するのが難しいところは写真や図を載せて分かりやすくしよう。</p>	<p>・順序に沿うように書きながら、並べたり組み合わせたりして文章全体を組み立てている。 ＜「せつめいカード」（2）〔記〕＞</p>

	2	<p>○「せつめいカード」を基にしながら文章の内容を考えることを通して、選んだおもちゃの作り方を説明する文章を「おもちゃの作り方カード」に書くことができるようにする。</p> <p>おもちゃの作り方をせつめいする文しょうを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「せつめいカード」を基に書くとやりやすい。 ・順序を表す言葉や長さなどの数字を書くとよい。 ・言葉や文で説明するのが難しいときは、図を使うとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「せつめいカード」を基に、順序を表す言葉や数字、図などを使って、順序に沿った構成で文章を書いている。 <p>〈「おもちゃの作り方カード」(2)〔記〕〉</p>
まとめ	1	<p>○作ったおもちゃと「おもちゃの作り方カード」をおもちゃギャラリーに展示することを通して、互いの文章を読み合えることができるようにする。</p> <p>文しょうをギャラリーにかざり、読み合おう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順序を表す言葉が使われていて読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの文章を読み合い、書き方のよさや工夫を相手に伝えようとしている。 <p>〈観察(3)〉</p>